

habit vs logic

# AI検索最適化ソリューション ハビタス ロジック

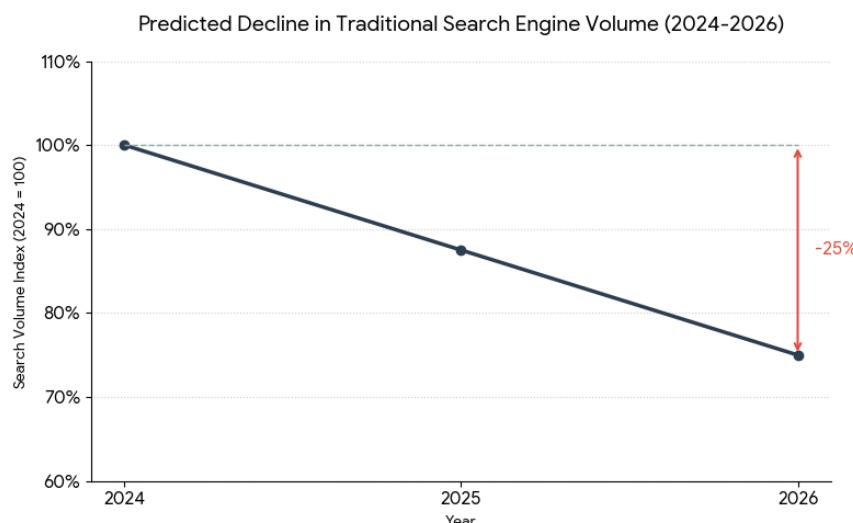
御社のWebサイトを、  
AIが読める「教科書」に書き換える



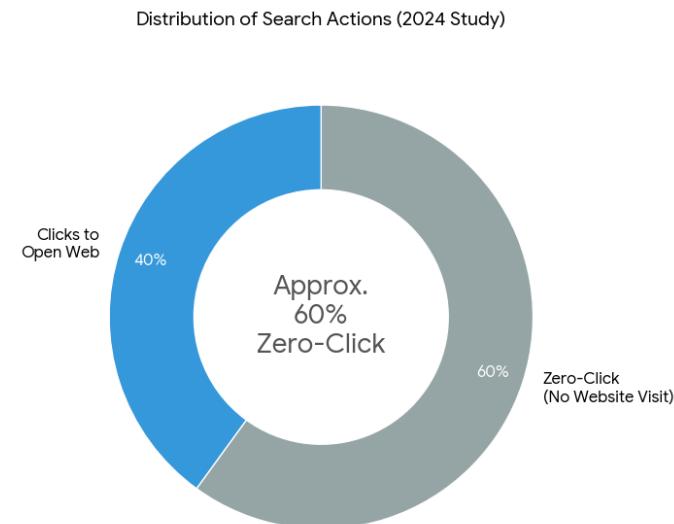
有限会社ハビタス

# 「見てもらえない」時代の到来

Gartner予測：  
2026年までに検索ボリュームは25%減  
する

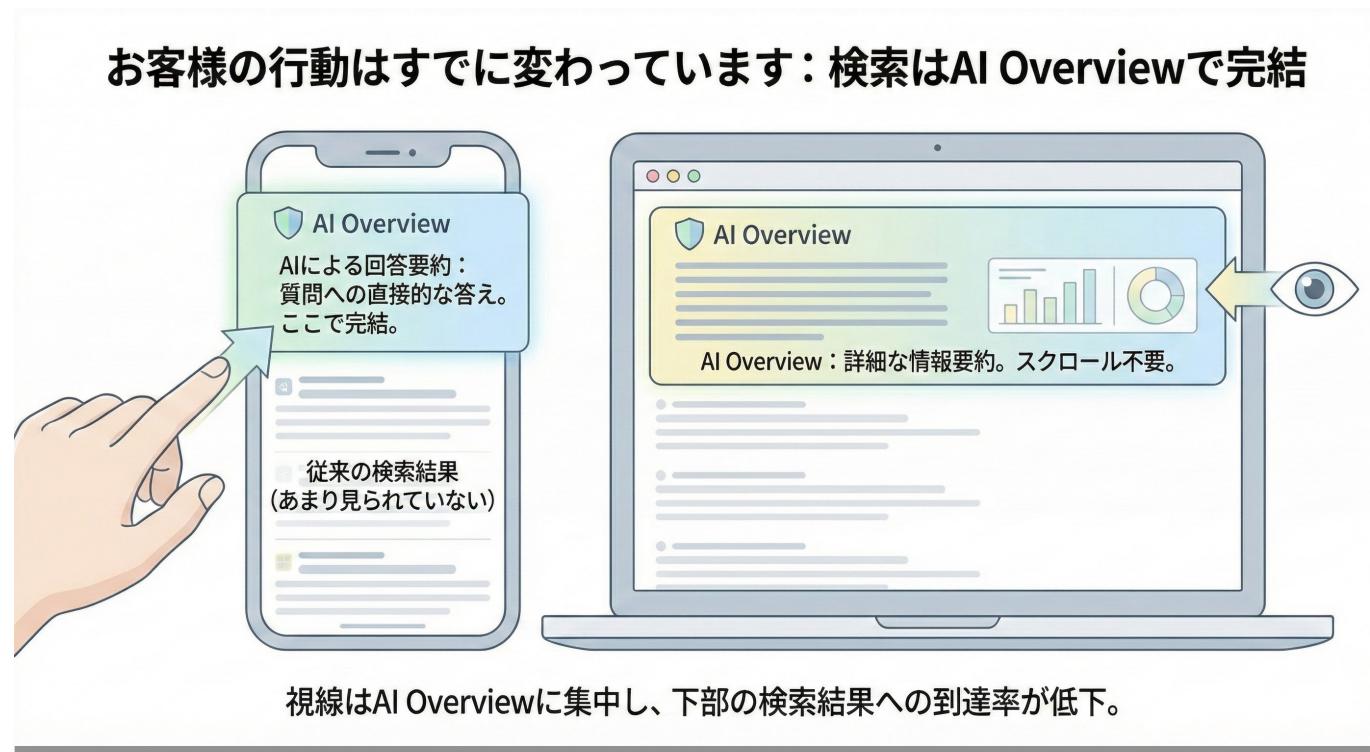


SparkToroデータ：検索結果の約60%  
はWebサイトをクリックしない  
(ゼロクリック)



「検索経由で人が来るのを待つ」という従来の  
モデルは、もはや通用しません。

# 「ググる」から「AIに聞く」へ



スマホの中で、AIが御社のことを勝手に解説しています。  
「うちには関係ない」と思っていても、お客様の行動はすでに変わっています。

# AIは平気でウソをつく

そのAIの解説、御社の「悪口」になってしまいませんか？



## ハルシネーション（幻覚）：

AIは知らないことがあると、ネット上の「噂話」や「古い情報」をツギハギして、もっともらしいウソをつく癖があります。

## 実例：

公式サイトでは「残業なし」と書いているのに、AIは5年前の口コミサイトを拾って「ブラック企業という噂があります」と回答してしまう。

## 警告：

これを放置するのは、会社の看板に落書きされたまま営業しているのと同じです。

# SEOをやっているから大丈夫？

SEO（検索順位対策）：

これは「目立つための競争」です。駅前で大声で呼び込みをするようなものです。

LLMO（AI検索対策）：

これは「身分証明」です。警察や役所に、正しい書類を提出するようなものです。

なぜSEOではダメなのか：

いくら呼び込み（SEO）を頑張っても、提出書類（データ構造）が間違っていたら、AIは御社を「信用できない」と判断します。「順位」を上げる前に、「信用」を作らなければなりません。

# 「SEOを頑張れば勝てる」か？

メッセージ：多くの経営者が「ブログを書けば」「キーワードを入れれば」順位が上がると信じていますが、現代のSEOはそんなに甘くありません。

- 高度化したSEOの現実：

現代のSEOは、ドメインパワー、被リンクの質、E-E-A-T（権威性）、Core Web Vitals（技術的指標）など、膨大なリソースと専門技術を持つ「大企業・強者」だけのゲームになっています。

※御社には、SEO専門の担当者が3人いますか？毎月100万円の記事制作予算がありますか？もしNoなら、この土俵で戦うのは危険です

- 結論：

資金力と人員のある大手が支配するこの土俵で、中小企業が戦っても「費用対効果」が合わなくなっています。

# Indeedやリクナビで集めた人を、AIという「ザル」で逃していませんか？

広告費（フロー）をドブに捨てる前に、受け皿（ストック）を直しましょう

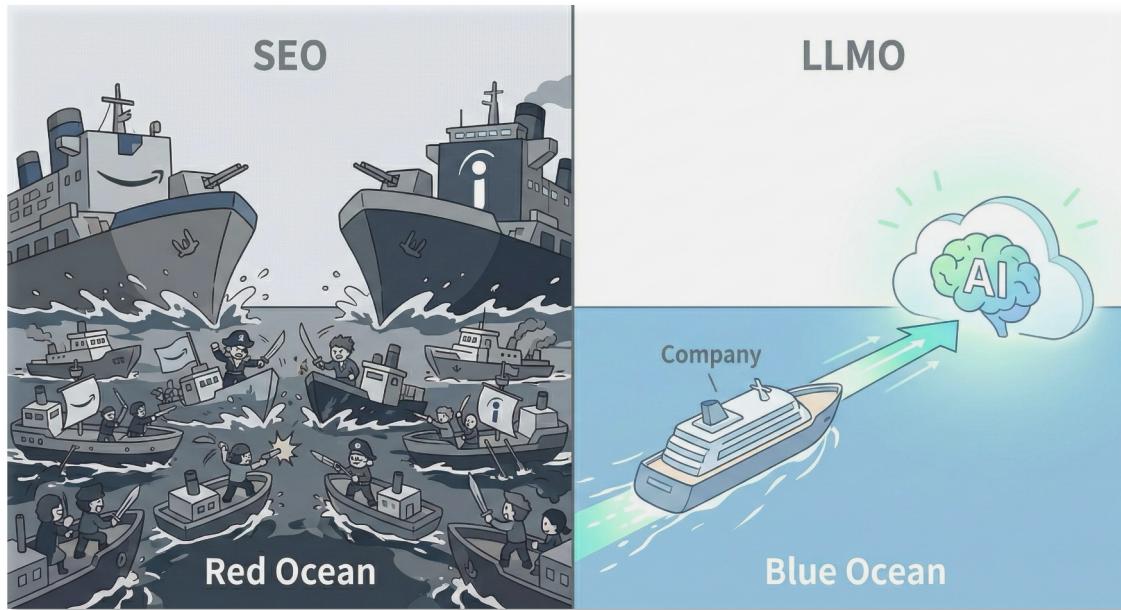
- ・ **中小企業の現実：** 求人サイトにお金を払って、人を集めるのは必要経費です。そこには勝てません。
- ・ **求職者の動き：** 求人サイトで御社を見つけた人は、次に何をするか？ 必ず「会社名」で検索します。
- ・ **ここが落とし穴：** その検索（指名検索）をした時、AIが「情報なし」や「悪い評判」を表示したら？ せっかく高い広告費で集めた興味・関心が一瞬で冷め、応募ボタンは押されません。

**解決策：** Habitus Logicは、求人サイトから流れてきた人を受け止める「着地地点」を整備し、広告費の無駄遣い（取りこぼし）を防ぎます。

# 「見た目」を変えても、 AIには伝わりません。

- よくある失敗： 「AI対応のためにサイトを綺麗にリニューアルしよう！」  
→ これは半分間違います。
- 理由： AIはデザイン（色や写真）を見ていません。裏側の「コード（論理構造）」を見ています。
- *Habitus Logic*のアプローチ： 今あるWebサイトはそのまま使います。裏側に「AI専用の配線（JSON-LD）」を通す工事を行います。これなら、フルリニューアルのような多額の費用や手間をかけずに、AI対応が完了します。

# 「順位 (Ranking)」から 「定義 (Definition)」へ



SEO（レッドオーシャン）：大手メディアやポータルサイトと、血で血を洗う「順位争い」。上にはAmazonやIndeedがいる。勝てない。

LLMO（ブルーオーシャン）：自社の情報を正しくAIに伝える「定義の戦い」。ここには競合はいません。あるのは「自社」と「AI」の関係だけです。

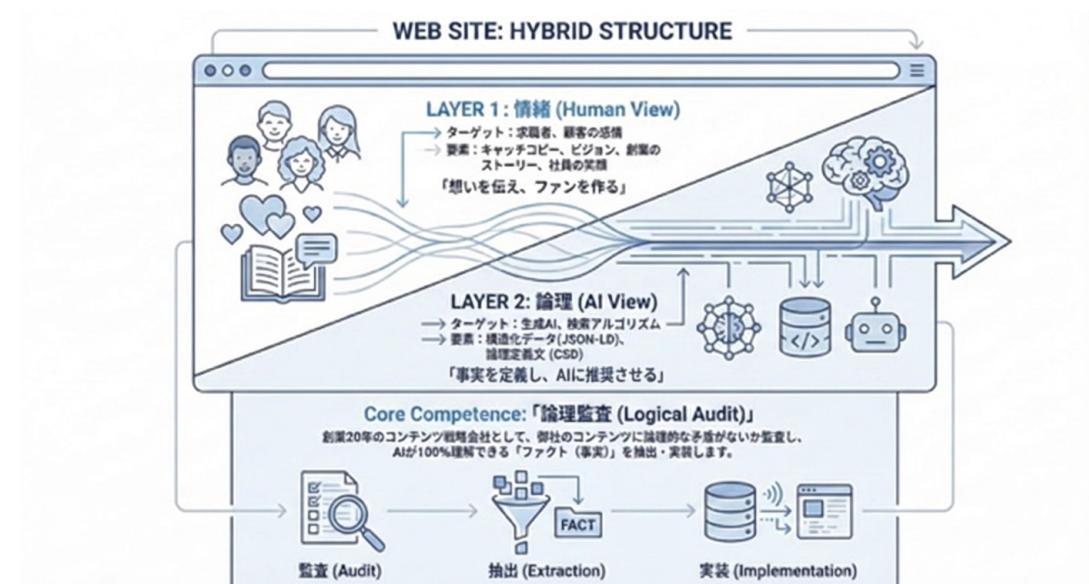
中小企業が勝負すべきは、他社との競争（SEO）ではなく、「自社の独自性をAIに認めさせること（LLMO）」です。

# 「ハビタス ロジック」とは

AIに、御社の「教科書」を渡す技術です。

「人間へのカタログ（情緒）」と「AIへの教科書（論理）」の二重構造。

habitus Logic



デザインを変えずに、裏側で「構造化データ (JSON-LD)」と「CSD (コンテンツ構造設計)」を実装します。

※この技術は、正確性が命である「医療機関」「自治体」「教育機関」でも導入が進む、情報の正規化基準（グローバルスタンダード）です。

# 経営へのインパクト

## 効果①：採用コストの削減（脱・ブラック企業誤認）

- 課題：AIはネットの古い悪評（ブラックな噂）を拾いがち。
- 解決：公式サイトで「最新の給与・待遇」を構造化データで定義し、AIの回答を「公式情報」で上書きします。エージェントや広告に頼る前の「基礎工事」です。

## 効果②：営業機会の創出（脱・その他大勢）

- 課題：「動画制作会社」と検索しても、大手しか出ない。
- 解決：「マニュアル制作に特化した動画会社」と詳細に定義することで、ニッチなニーズを持った顧客とAIがマッチングしてくれます。

# 提供サービスと導入プラン AI検索最適化ソリューション “Habitus Logic”

habitus<sup>Logic</sup>

Trial	Starter	Advisory
<p><b>Habitus Logic Diagnosis</b> (AIレビューション診断)</p> <p><b>【概要】</b> 主要AI (ChatGPT, Gemini, Perplexity) における自社の表示状況とリスクを可視化するレポート。</p> <p><b>【価格】</b> 毎月5社限定 無料 (通常 50,000円)</p>	<p><b>Habitus Logic Core</b> (3点構造化パッケージ)</p> <p><b>【概要】</b> 経営インパクトの大きい「トップ・採用・主力事業」の3点に絞り、構造化データと論理定義 (CSD) を実装するスターターパック。</p> <p><b>【価格】</b> 500,000円 (税別)</p>	<p><b>Habitus Logic Partner</b> (AIプランディング顧問)</p> <p><b>【概要】</b> 毎月のAIモニタリングに加え、新着ニュースやブログ記事の構造化、競合他社の動向調査を行う継続サポート。</p> <p><b>【価格】</b> 月額 80,000円～ (税別)</p>

# 御社のサイトが、AIにどう評価されているか。まずは「現実」を

今ならAIレビューテーション診断は無料です。  
ぜひご利用ください。

主要AI（ChatGPT, Gemini, Perplexity）における自社の表示状況とリスクを可視化するレポートをお渡しします。

こちらからお申し込みください。

【キャンペーン】無料AIリスク診断を申し込む

<https://habitus.co.jp/llmo>



## 有限会社ハビタス (Habitus Inc.)

### Misson:

Webサイトを「人間へのカタログ」から「AI時代の知識インフラ」へ進化させる。

ハビタスは、創業以来20年以上にわたり、一貫して「コンテンツ・ファースト」を掲げてきたWebコンサルティング・制作会社です。

Structure (構造) : アカデミックな視点に基づく、論理的なサイト構造設計。

Context (文脈) : 読み手の心を動かす、ストーリー性のあるコンテンツ制作。

この2つを融合させる「Strategic Web Design」を強みとしてきました。 AI時代において求められる「二重構造 (Dual Layer)」のアプローチは、私たちが長年磨き続けてきた「編集工学」そのものです。

「横文字の流行語」や「小手先のハック」ではなく、御社のビジネスを正しく理解し、最も美しい論理構造で世界 (AI) に届ける。そのための「翻訳者」として、ハビタスを選んでいただければ幸いです。

### Service:

- ・LLMO (AI検索最適化) 導入支援
- ・Webコンテンツ構造設計 (CSD)
- ・企業Webサイトの戦略的リニューアル

Address: 東京都渋谷区桜が丘町29-33#504

URL: <https://habitus.co.jp/>

habitvs